

欲しげに見られるだろうか？
 (30代女性)▽哲学書や啓蒙書が好きたが「孫子」は固すぎるか。カーネギーにしたほうがいいか(40代男性)「など、選書の段階から盛り上がる。当日はクジで本を交換し、あらずや読みどころを紹介し合った。
 悩んだあげく恋愛小説をやめ、写真集に手製のブックカバーを巻いた女性は「家庭的」との声に頬を赤らめ、着物姿で猟奇殺人物語を持参した女性は「コワイ」と男性陣に引かれた。なるほど趣味嗜好が伝わりやすく、コミュニケーションが活性化。

時代の
 エッセイ
 早川 さや香

夏になると「あれ、やらないんですか」とリクエストされる。夏の熱気が、らだん腰の重い友人だなきをわめかせるらしい。「そう。40代になると飲み会すら億劫になりがちですが、本があると盛り上がりやすい」と伝授してくれたのは、合コン業界で80万人の参加実績をもつ女性社長。お勧め本を持参する「BOOK合コン」ブームの先駆けだ。私も主催してみるよ▽口下手で地味なので、大胆な恋愛小説を持参したいが、物

本のへ理屈ですが

知的な出会いを演出

都内で開かれた読書会「猫町倶楽部」に、エッセイ作家の早川・ライオンを筆とする10人の参加者



手にした百数十人が都内の方フエに集まり、感想を述べ合うさまは圧巻だ。しかも課題は「

2006年に名古屋の読書好き4人で発足した「猫町倶楽部」は、いま会員7千人強。同じ本

風貌もトークもお笑い芸人ばかりの男性が「青春の黒歴史です」とポトレールの詩の一節を読み上げると女性たちは笑ったが、後日アンケートが重ならなかった。そんなテクニックが豊富で見えるほどハードな読書会が、都市部で盛んだ。BOOK合コンが単館上映なら、こちらは大型ロードショーか。

ハート射止める

たという人が何人もいる。結婚相談所などより相性がわかり、深いマッチングがあるかもしれない」とは代表の山本多津也氏(48)。同会で出会って結婚したカップルは20組近いという。

8割が2次会に

ハードな課題図書を読んだという条件がフィルターの役割を果たし、軽いナンパ気分やマルチ勧誘目的は淘汰される。読書で流した汗をたたえ合う連帯感…。学校や職場で「ゲータが好きだなんて口で言えないが、熱く語りたい仲間はこんなにいるのだ。話し足りずに、全体の8割が2次の飲み会へなだれ込む。私も、学生時代のような高揚を感じ出した。今度は仕

「本を通して、心の奥深い所を語り合ってくださいから、それは快感でしょう。人生が変わっ

「いや、読み切れなかった」とあちこちで「読書につまみ上げた」感想が。本と読み手の関係は自由で、意見を否定し合えないルールがある。そんな中で汗して語り合うこと、「エヴァンゲリオン」の宇宙観とも通じるかも」と、ツボとツボがぶつかる瞬間がある。

・L・ボルヘス『伝奇集』。これは南米文学の中でも極北とされ、東西古今の伝説・神話・哲学を題材に織りなされる迷宮の作品。私は半分も読解できないが、可憐そうな20代女性の皆さんは…?

代の気分にマッチしているようだ。県内で「読書会」「文学コン」をやるなら…やはり高志の国文学館が風情がありそう。結果「文学館ウエイティング」などに繋がればロマン、採算もよむ。ぜひ、本命とめぐり逢うために本を。(スタジオポケット代表 富山市出身・東京)

次回は屋敷陽太郎さん(NHKドラマ番組部チーフ・プロデューサー、氷見市出身・東京)の天上の娯楽です。

現在、このような新型読書会は全国で200以上になったと推測する山本代表は、著書呼んでの講義、書店と運動する試みなども行ってきた。安・近・短ながらふと深く知る糧古場として、読書会は2010年

事抜きで参加していいですか？参加者のファッションも洒落ていると思ったら「いかにもな文学オタクの集団にならぬよう」ボルヘスなら「ラテン」などドレスコードがあるという。美しいエスニックドレスの女性が投票でベストドレッサーに選ばれ、特製しおりやブックカバーが贈られる。ますます読書会って「格好いいね」と、20、30代の参入が増える。

Hollywood
 celebrity collection
 めしX3L

ニコール・キッドマン



美女でアカデミー主演女優賞受賞の本格演技派ニコール・キッドマン。加えてチャレンジャーでもあるよう、新作の「ペーパーボーイ 真夏の引力」(日活配給)では、扇情的なシーンも堂々と演じ、エージェンツもためらったという、そのアブナイ場面の写真の使用もメデイアに許可して話題を呼んでいる。ここでの彼女は死刑囚と婚約、その一方で彼女に夢中になった新聞配達員の若者のハートをもてあそぶ役どころ。米国南部の息苦しいまでの素し暑さの中で練り広げられる人間模様。そこに奔放な女の情欲がかかると、というラスリリングな問題作だ。1967年、ハワイのホノルル

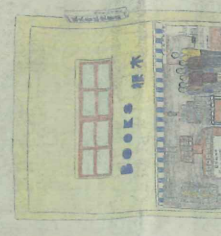
で生まれた。父の母国オーストラリアに移り、少女スターとして活躍。トム・クルーズ・オブ・サンダー(90年)で共演。すぐに結婚するが2001年に離婚。その後も際立った女優根性を発揮して大物になった。06年に歌手のキース・アーバンと再婚している。

問題作に挑む演技派女優

得地直美、本屋図鑑編集部著

本屋図鑑

「本屋図鑑」



「本屋図鑑」

全都道府県にある「町の本屋さん」約70店を紹介する。図鑑といっても基本は文章。全この取材と執筆は、本書の版元を1人で営む島田潤一郎さんと、書店事情に詳しいブローカー空矢さんが行った。各店の様子も得地直美さんの優しいイラストで表現。本屋さんへの愛情が陣々から伝

今が旬

地域の書店にエール

北北海道稚内市にある日本最北端の書店や沖縄県石垣島の最南端の書店。江戸時代から続く老舗、全国のふるさと図書館コーナーを置く店、辺ぴな山麓で営業する店など。個性的な有名店以外に、地味でも地域に根差した店を多く取り上げ、店主の日々の苦勞や頑張りもさりげなく盛り込む。

書店での美例を基にした「新刊平台」「文芸書棚」など棚作りの工夫。書店業界の歴史や流通の仕組みのコラムなども。誰もが子供の頃にお世話になった「町の本屋さん」。その大切さをありがたみを改めて思い起こさせてくれる一冊だ。

(夏草社・1780円)